

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2013年新年号

ほくし

迎春



年頭所感

大阪北区歯科医師会 会長 高麗 誠紀



明けましておめでとうございませう。会員の皆様方にはご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年暮れの衆議院選挙において、大阪では維新の会が圧勝し、全国的にも日本維新の会が躍進しました。結果的に民主党が大敗し、自民党が圧倒的な議席数を獲得し、政権を奪還しました。

歯科界にとって、民主党政権では過去二回の保険点数改定で、このデフレ経済の中、医科よりもアップ率が上回る点数改定をやり遂げていただきました。医科との保険点数格差はまだまだ大きいですが、この保険

点数改定は以前の自民党政権下では想像もできない実績でありました。

今年から自公連立政権に戻った以上、歯科にとって以前の暗黒時代に立ち返らぬよう、政権与党に積極的に働きかけるべきだと考えます。

また、今年は十一月末日までに新法人移行申請を済まさない限りありません。

一昨年の臨時総会において、当会の一般社団法人移行をご承認いただき、現在、移行に必要な所定の手続きを進めております。

新定款については、当会顧問の中務公認会計士や、横山司法書士と相談の上、理事会で審議して参りました。会計については、諸先輩方の功績と会員の先生方の財産をお守りするため、公益目的支出計画の期間を出来る限り短縮させる施策に取り組んでいます。

まず、ご承知の通り昨年度末までに会員に健康増進奨励金を給付し福祉共済制度を充実廃止し、公益目的財産を大幅に減少させました。

次に、一般社団法人移行までは公益目的財産を増やさないと年費を徴収せずに、事業は縮小させないことで、結果的に公益目的の財産を減少させて、公益目的支出計画期間の短縮化を図っています。

また更に、死亡弔慰金引当金を計上することで、実質財産額は減少することなく、公益目的の財産を数字上、減少させる施策も取り入れています。

事業に関しては、学術専門団体である当会の公益事業の主事業の一つである学術講演会も、会員対象に止まらず公開形式に移行して三年目を迎えます。今年は互礼会の日程とは別に三月十六日(土)に、総義歯の第一人者としてつとに高名な阿部二郎先生をお迎えし、「無歯顎補綴の未来」と題して御講演戴きます。この貴重な機会に、会員の皆様お誘い合わせの上、ぜひ奮ってご参加ください。

依然厳しい状況に置かれている歯科界ですが、今後も当会の伝統である「和を以てて尊しと為す」の精神をモット

ーに、会員相互が団結して協力し合い、大阪府歯科医師会のご指導を仰ぎながら、会務運営して参りたいと存じます。

歴代の会長から引き継いで来たスローガンである一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務執行

一、明るく、活気ある歯科医師会の推進

一、会内融和

一、伝統の継承

以上、会外との緊密な連携、執行部一丸となつて、意欲と情熱をもって会務に携わっていく所存です。

そして、北区内では昨年の「北区みんなの健康まつり」に於いて新たに歯科衛生士会協力でのフッ素塗布、歯科技工士会協力での義歯洗浄などを実施しました。今後

も行政や医師会、薬剤師会、更には関係諸団体ともこれまで以上に連携を密にして地域医療発展のため全力を尽くす覚悟であります。

どうか本年も旧に倍するご指導・ご鞭撻とお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後に、会員の先生方にとって今年が素晴らしい年になりますよう心から祈念致しまして念頭の挨拶とさせていただきます。

これからの一年で巳年の天井感を我々一般市民までが実感できることを期待するのみである。(K)

パノラマ

二〇一三年は、『辰巳(たつみ)天井』といわれる巳(み)年。

千支の辰の年と巳年は十二支の中で最も株価の上昇率が高くなる傾向にあり、対して戌亥(いぬい)の年は底値になりやすい、との経験則から株式市場では「戌亥の借金、辰巳で返せ」との格言もある。過去の「天井」といえば、日経平均株価が市場最高値をつけた一九八九年(巳年)のバブルや、二〇〇〇年(辰年)のITバブルなどがあげられる。

今回の辰巳はどうだろうか? 昨年末にスタートした安倍新政権の掲げる脱デフレ政策、いわゆるアベノミクス(安倍+エコノミクス)の造語)への期待から辰年の最後から巳年にかけて急激な株価の上昇、円安傾向、と現時点では経済界には明るい展望としてとらえられているようだ。

期待が失望に終わらぬよう、安倍晋三新首相率いる自公連立政権の責任は重い。

これからの一年で巳年の天井感を我々一般市民までが実感できることを期待するのみである。(K)

年頭所感

大阪府歯科医師会
会長 太田 謙司



新年明けましておめでとうございます。本年が会員の皆様、ご家族にとりまして、より良き年でありまして、心からお祈り申し上げます。

一昨年春、岡邦恭前会長のご推挙と多くの先生方のご推薦をいただき、伝統ある大阪府歯科医師会の会長職を拝命してから、二年の歳月を迎えようとしております。現在まで何とか会務を遂行することができましたのは、会員の皆様の絶大なご支援、ご協力の賜物であると深く感謝しております。

この間、執行部一丸となつて会務の運営にあたり、学術活動、歯科保健活動、診療部門、地域医療連携体制等の、さらなる充実を図る活動を展開してまいりました。学術活動では昨年からは毎月一度の学術講演会を開催し、診療部門では、夜

間緊急歯科診療は三六五日休むことなく深夜の診療を続けております。昨年十一月には来院延患者数が五万人を突破すると同時に、大阪府病院診療所歯科部長会

のご協力により、後送病院についてのシステムを取り決めることができ、広く地域住民の方々の安心、安全をさらにしっかりと支えることに寄与できたと考えます。また特筆すべきは、障がい者歯科診療において昨年四月より、土曜日午後の診療を開始することができ、多くの方々のニーズにお応えする体制を作ることができました。

歯科保健活動では特に昨秋二つの大会を主催することにより、歯科の大切さを府市民にアピールしてまいりました。一〇月には第十七回大阪歯科保健大会を、難波の高島屋大阪店で開催いたしました。十一月には第二十二回日本歯科医学会総会における公開フォーラム、府県民イベントを府歯が中心となり開催することができました。フォーラムでは「歯周病と全身との関連」を取り上げ、府民、市

民、行政に歯科から情報を発信することができたと考えております。これらの催しが、役員、支部長をはじめ会員の皆様方の献身的な努力により、盛会裏に終了することができたことに心から感謝申し上げます。

新法人移行については、本年の代議員会において新定款等をご承認いただき、一般社団法人移行に必要な所定の手続きを進めてまいります。

歯科医療を取り巻く状況は依然として厳しく、政治情勢によつては、経済至上主義、新自由主義への回帰が強まることにより、医療を中心とする社会保障制度の後退が懸念されます。大阪府歯科医師会は今後とも国民皆保険制度を堅持し、国民のための歯科医療を守るべく、運動を展開してまいります。

学術専門団体としての確固たる理念と見識に基づき、会員のための歯科医師会を第一に考えた会務運営を、残る期間全力で執行していきたいと考えておりますので、会員の皆様の旧年にも増すご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭の所感といたします。

新年のご挨拶

大阪市
北区長 中川 暢三



新年明けましておめでとうございます。皆様には、お元気で輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は市政・区政の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。申し上げます。

公募区長として区役所に着任し早五ヵ月が経過しました。その間、北区を元氣かつ真に豊かで、持続可能な環境先進都市「プラチナ



社会」とするため、公民連携（民間活用）手法などによつて、行政効率化とサービス向上に鋭意努めております。

さて、今年は北区役所におきましては平成二四年度の仕上げをするともに、待機児童問題の解消、赤バス代替輸送の検討など懸案事項を解決する年であると認識しています。

一方、北区をより魅力的なまちとするため、「北区プロデュース委員会」を立ち上げ、地域資源の発掘・活用を図り、中之島周辺地域を世界遺産に登録することや、オリンピッククメダリストによるスポーツ教室の開講なども検討してまいります。また放置自転車対策の一環として自転車シェアリング、淀川左岸線道路予定地など区内の未利用地などを活用して菜の花・ひまわり・コスモスなどを咲かせ、なにわの伝統野菜を復活する都市型農業の検討など、環境と景観のまちづくりにも取り組めます。

さて、健康・医療分野に関し、大阪市の健康増進計画「すこやか大阪21」も第

二次計画を策定中です。平成二五年度からは、企業や地域の多様な団体と協働しながらライフステージに合わせた健康づくり事業を進めてまいります。

歯の健康については、生涯にわたる生活の質を確保するため、「八〇二〇運動」をはじめ、乳児期や妊婦に対しての口腔内の健康診査や歯科保健指導を行い、歯及び口腔内の健康増進を推進しているところです。

大阪北区歯科医師会の皆様方におかれましては、歯科健診や健康まつりなど、北区の地域保健活動にも多大なご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

結びに、大阪北区歯科医師会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

大阪市北区保健福祉センター
医務主幹 吉村 高尚



新年明けましておめでとうございます。大阪北区歯科医師会の先生方におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、なにかと北区保健福祉センターの保健衛生行政の推進に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今年も引き続き、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年は、世界的にいろいろな国でリーダーが変わるといふ大きな節目の年でありました。我が国でも、この年末には総選挙があり、新しい時代の展開が始まるうとしています。

我々職員一同も、時代の大波にもまれながらも懸命に取り組んでおります。ただ、歯科におきましては、昨年、歴史ある「よい歯のコンクール」の行事が滞り、全国大会への道が途絶えたことは申し訳なく、心からお詫び申し上げます。

ます。

一方、昨年に開催されました「北区みんなの健康まつり」におきましては、歯科の先生方のご尽力により、新たな取り組みとして、就学前の子供さんを対象に、フッ素塗布イベントを開催できました。おかげをもちまして、多数のお子様の来場を得、保護者を含めて、健康まつりとしても大幅な増員を達成することができました。ありがとうございました。

最近では、歯周病と生活習慣病の関係について、よく理解されるようになってきています。周術期の口腔ケアの重要性が指摘され、研修会が病院で開催されるなど、ますます歯科と医科の協同が当たり前の時代になってきています。それぞれの専門分野の特性を生かしつつ相互乗り入れすること、患者さんにとつてより良い結果がえられるのではないかと期待しています。

最後になりましたが、高麗会長をはじめとして大阪北区歯科医師会がますますご発展されますように、また会員のみなさまの今年一年のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

巳年年男・年女

昭和 4年

16年

28年

40年

52年



年男

班外 川村 泰雄
(昭和4年1月18日生)



歯科医になり六三年ひたすら近代歯科を求め頑張ってきました。しかし日本の歯科界は停滞し、患者さんを忘れ、自費診療を求め、未熟なインプラントに走り社会に大きな不信を与えている事を本当に憂慮しています。

患者さんの口腔の健康をつくるという歯科医の本分にかえり「私はあなたの歯にのみ関心があるのではありません。私はあなたの健康と幸せに関心があるので」と言う姿勢を示すべきでしょう。

それには声を大きく「歯は老化で失うのではない。一生涯命と共にあるのだ」を主張すべきです。それが可能なのです。

迎春如夢

(ばいしゅんゆめのいっしゅ)

班外 三宅 進士
(昭和4年1月20日生)



年齢八秩、高齢につき何事も云うことはありません。唯老人の現在の心境を述べて、老耄の一首を詠みます。

天寿餘生笑不憂
(てんじゅのよせいいわらつてうれえず)

梅花吟杖筆庭收
(ばいかのぎんじょうひつていにおさむ)

飄飄白首醉如夢
(ひょうひょうしゅたいるはくしゅようてゆめのごとし)

瞿鑠迎春仙境遊
(かくしやくはるをむかえてせんきょうにあそばん)

回顧生き様

11班 大塚 禮三
(昭和4年3月31日生)



七度目の年男にまで永らえた。不思議に大病もなく過ごせて有難く思っています。

初年男十二歳には戦時中で軍国少年時代として成長、昭和二〇年八月一日日終戦の日まで国のために死ぬのは当然と教えられ、軍隊経験もしてきました。

戦後、歯科医師に変身して六二年幾多の体験を重ね本年まで色々と多くの方のお世話になりました。診療においても、歯科医師会の組織においても原点は患者さんであり、わが身を犠牲にしても尽くすのが当然と考えることができました。これも戦前教育で滅私奉公の名残りが三つ子の魂百までと今も続いています。物事の判断基準は損得でなく海兵時代に教えられた五省の一つ至誠に悖るなかりしか、一言行に恥ずるなかりしか、を参考にしてきました。

二度目年男時代は勉強

人生のエピローグ

11班 橋本 収
(昭和16年9月26日生)



このたび六回目(己)の年を迎える事になる。長かった様でもあり短かった様でもある。同窓生の多くが何らかの体の不調を訴えている状況を考慮すると、次回の己の年を健康で迎えられ自信がない。しかし私の父親が八四才まで診療を続けていた事を思い起こすと、おやじに追い付け追い越せ！と奮起する。六五才を過ぎた頃から早朝の早歩きを始めて快調なので、今後の一〇年間の健康寿命延長のために何を始めるのかじっくり考えてみます。

診療研修中。三度目年男時代は家庭作り基礎作り。四度目は会務に診療、研修に熱中。五度目は診療と会務の花盛り。六度目は引退準備と趣味作り。七度目は半分診療と趣味に生き、川柳の『老木は枯れた振りして新芽だす』の姿勢で転ばぬように歩みたいと思っています。

平成25年 新年互礼会開催

ヒルトン大阪
四階・真珠の間

H25.1.12

HP

一月十二日(土)、ヒルトン大阪四階、真珠の間において、平成二五年新年互礼会が開催。関係官公署および団体代表、議員の来賓を招き、八七名が出席し開催された。

大塚専務理事が司会を務め、野口副会長の開会のことばで始まった。高麗会長は新年の賀詞と参会への謝辞を述べた。続いて、中川暢三大阪市北区長、川野敏樹大阪府歯科医師会副会長にご挨拶をいただいた。西本総務理事による来賓各位の紹介の後、吉村高尚大阪北区保健福祉センター医務主幹、古林光一大阪北区医師会会長、中山泰秀衆議院議員、村上政俊衆議院議員、美延映夫大阪市長に祝辞をいただき、荒木秀多北区薬剤師会会長の音頭で乾杯し



て懇親会に移った。昨今の厳しい社会情勢が続く中であるが、多くの会員が来賓や会員相互と和やかに交流し楽しく時間が流れていた。またたく間に夜が更け、木下副会長の閉会のことばでお開きとなった。尚、来賓各位は次の通りであった。

(順不同敬称略)

中川暢三(大阪市長) 中山泰秀(衆議院議員) 村上政俊(衆議院議員) 吉田おさむ(前衆議院議員) 川野敏樹(大阪府歯科医師会副会長) 天羽隆(大阪府歯科医師会常務理事) 城村幸治(大阪府歯科医師連盟理事長) 水沼和夫(大阪府歯科医師連盟常務理事) 黒川森夫(大阪府歯科医師連盟監事) 加藤信次(大阪府歯

科医師国保組合副理事長) 吉村高尚(大阪市北区保健福祉センター医務主幹) 木村雅之(大阪府北消防署長) 久谷真敬(大阪府議会議員) 小玉隆子(大阪府議会議員) 美延映夫(大阪府議会議員) 吉村洋文(大阪府議会議員) 古林光一(大阪市北区医師会会長) 松井重文(北区大淀南科医師会会長) 荒木秀多(北区北薬剤師会会長) 草分孝子(北区大淀薬剤師会副会長) 小谷和弘(大阪府歯科技工士会専務理事) 西康文(大阪府歯科技工士会中央北支部長) 永井るみこ(大阪府歯科衛生士会会長) 木村久美(大阪府歯科衛生士会大阪北支部長)

医療保険講習会

H25.1.12

HP

一月十二日(土)、北区歯科医師会新年互礼会に先立ちまして、医療保険講習会が行われました。

今年初めての講習会ということもあり、昨年から医療保険部で、あるいは医療保険セミナーで多く検討されてきた「SPT」についての総まとめも盛り込むこととなりました。講師には、大阪府歯科医師会常務理事で北区歯科医師会の医療保険部にも所属していただいている天羽

選挙管理委員会開催

H24.12.10

HP

平成二四年十二月一日(月)、午後七時三〇分より北区歯科医師会事務所において、平成二四年度の選挙管理委員会が開催されました。出席者は、上田祐嗣委員、宮崎哲委員、高垣健太郎委員、吉川興司雄委員、オブザーバーとして高麗会長、野口副会長、大塚専務、佐々木常務でした。

議事は、(一) 正副委員長選出、(二) 平成二五・二六年度社団法人大阪北区歯科医師会会長並びに監事選挙についてです。

定款並びに選挙に関する

規定に則り協議され、次の通り決定されました。

(一) 委員長・上田祐嗣先生、副委員長・宮崎哲先生 (二) 定款、選挙に関する規定に則り、会長並びに監事選挙を別記の日程に実施する。

公益法人法の改正に伴い、当法人にとっても、非常に重要で困難が待ち受ける来季ではありますが、二七七名の会員を導く船頭を選ぶ重要な選挙でありますので、委員の先生方が、厳正に業務を執行されたことを記載し、報告とさせていただきます。

(常務理事・佐々木裕記)

隆先生をお迎えし、上述の「SPT」についての解説もあわせてお願いしました。

新年のご挨拶の後、先ず現在の医療保険請求についてのお話がありました。電子請求される先生が増えてきており、その請求時の注意事項などを明快に解説いただきました。次に「SPT」についての解説があり、これを上手く活用することで、今までの便宜的な形で保険算定ではなく、きちんとした形で、

知事表彰受章



知事表彰受章の御礼
会長 高麗 誠紀

この度、大阪府歯科医師会のご推薦により歯科保健普及向上への功績として昨年十二月十七日に大阪府知事表彰を受賞させて頂きました。身に余る光栄であり、これもひとえに北区北支部の先生方のご支援ご協力の賜物と心から感謝しております。

今後はこの受賞に恥じないよう、微力ではありますが公衆衛生の向上に精一杯力を尽くして参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

編集後記

昨年末には政権が交代し今年こそ日本再生を期待したいものです。

本年も広報部一同がんばりますのでよろしく願いいたします。